

地域公共交通運行管理支援システムにおける情報提供機能

理工学部
情報科学科
教授

稲永 健太郎



研究シーズの紹介

本研究は、研究理念である“ICTで地域公共交通に貢献する”の下、令和3年度KSU基盤研究費研究課題「アフターコロナに向けた地域公共交通のための運行管理支援システムの拡張」において開発を進めてきた、地域公共交通運行管理支援システムにおける情報提供機能の拡充を目指す。

令和4年度はコロナ禍以降の各種社会活動に適合する情報提供機能の強化として、標準的なバス情報フォーマット

(GTFS-JP) データを用いて、運行車両内外 (Web・デジタルサイネージでの表示) での提供情報の品質向上に向けた各情報提供機能の改良に取り組み、発車標情報を提供可能なデジタルサイネージシステムを開発した。

宗像市の公共交通を対象に、開発したサイネージシステムを実装し、福岡県宗像市のJR駅近隣施設に設置した。



発車標情報表示 デジタルサイネージ

- 最新のGTFS-JPデータに反映させた発車標情報を提供できます。
- 利用客向けに地域公共交通の情報を効果的に提供できます。



期待される活用シーン

- 利用客 (特に観光客) 向けに地域公共交通の発車標情報を提供したい。



GTFS-JPデータを使ったデジタルサイネージを利用することで、利用客向けに適時適切な情報を提供できます。



- 地域公共交通の停留所別に情報提供したい。改正ダイヤを即座に反映させて情報を提供したい。



最新のGTFS-JPデータを反映できるデジタルサイネージを利用することで、停留所別に、改正ダイヤを反映させた情報提供ができます。



その他の研究テーマ

- ・生活困窮者支援団体間の情報共有システム
- ・地域コミュニティによる情報発信活動へのICT支援